

WWII GERMAN PANZERTRUPPE

Jagdpanzer "ELEFANT"

88mm
PIN POINT CREW™

SUPER
DETAILED
INTERIOR



Bandai™

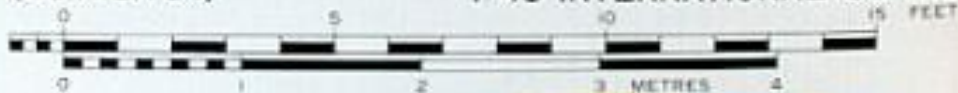
1/48 SCALE - PRECISE SCALE FINE DETAIL INSIDE AND OUT CREW AND DECALS INCLUDED

Pz.Jäg ELEFANT Sd.Kfz.184

PANZER JÄGER "TIGER"

(P)" für 8.8cm Pak 43 L/71 "ELEFANT" (Sd.Kfz.184)

1/48 INTERNATIONAL SCALE

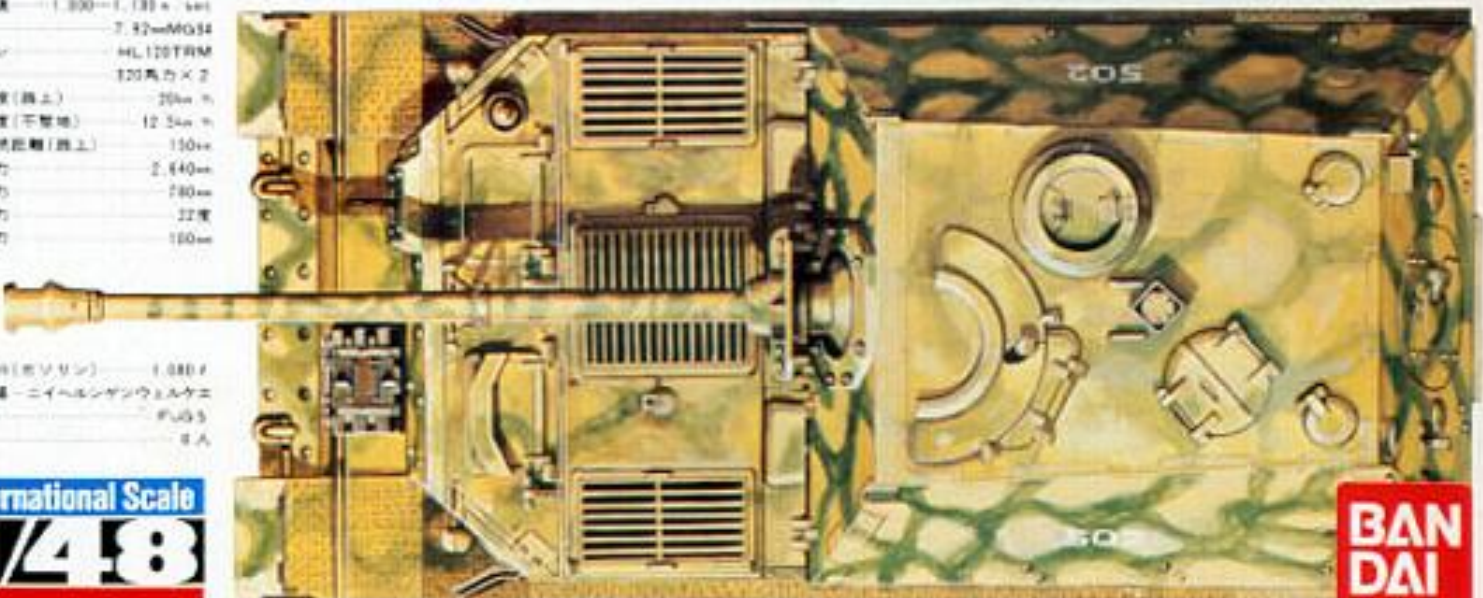
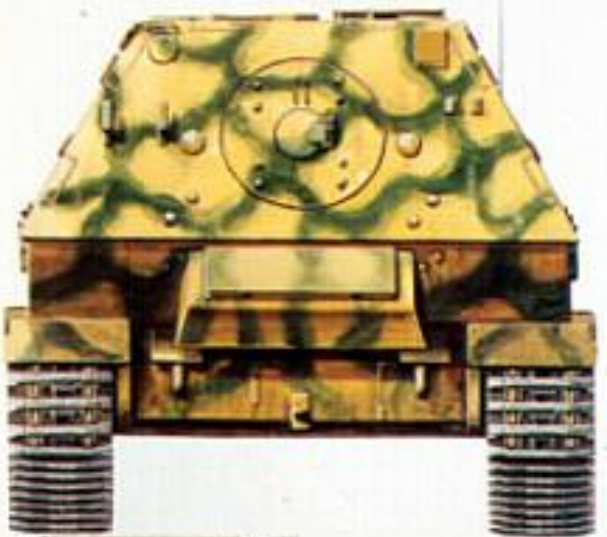


ドイツ重駆逐戦車
エレファント

Technical Specification

総重量	60,000kg
全長 車体長	8,140mm / 8,000mm
全幅 全高	3,280mm / 2,970mm
車体前面装甲厚	100mm
車体側面装甲厚	80mm
車体後面装甲厚	90mm
車体上面装甲厚	30mm
車体後面装甲厚	30mm
射撃姿勢面装甲厚	200mm
射撃姿勢面装甲厚	80mm
射撃姿勢面装甲厚	80mm
射撃姿勢面装甲厚	80mm
履帯幅	650mm
接地長	419mm
接地圧	1.24kg/cm ²
主砲口径	88mm
主砲初速	1,300~1,330 m/sec
機関	7.82-MAG34
エンジン	HL110TRM
出力	320馬力×2
最大速度(路上)	20km/h
最大速度(不整地)	12.5km/h
最大航続距離(路上)	150km
総重量	2,640mm
総重量	780mm
全高	22度
最大傾斜	100mm

機件燃料(ボソリン) 1,080ℓ
 主砲工砲 - ニイヘルゲンツェムケニ
 無線機 - FuG5
 乗員 8人



International Scale
1/48

**BAN
DAI**

Pz.Jäg

TIGER (P)

ELEFANT

Sd.Kfz.184

1/48 INTERNATIONAL SCALE

ドイツ重駆逐戦車

“エレファント”



エレファント

“象”よ、ソ連戦車を踏みにじれ!

第2次大戦中ドイツ軍が作った駆逐戦車は数々あった。その中でヤクトタイガーとともにエレファントは、6号戦車系列に属する重駆逐戦車として1943年、約90両が生産された。1942年、ベンシエルのVK4501型（タイガーI）の競作の時、ボルシェ社の試作型の制式にならなかった車体を90両流用し、駆逐戦車にしたもので、設計者のフェルディナント・ボルシェ博士の名をとって「フェルディナント」ともよぶ。前面装甲が200mmもあり、重量68トン。71口径88mm対戦車砲43L/71型を搭載して、強武装、厚装甲を誇ったが、独特の電気動力方式のエンジンは故障続発、接地圧は1.2kgとこのクラス最大となり、したがって行動力は、「象」の名のとおりによく、20km/hしか出ず、第653、654重駆逐戦車大隊を編成し、最大の戦車戦クルスク戦に参加したが3日目にして、致命的な欠陥が発見し、巨人戦車はとり残されるか、ひきあげてしまうかの悲劇に終わってしまった。エレファントのこの致命的な欠陥の、ダブル・ピン型のキャタピラは、鋼製で接地長が4m強、幅は650mmしかなく（ちなみに、ヤクトタイガーの場合は、810mmもある）68トンの重量をさ

さえるには不足であった。その上登板能力は22度（40%）でキングタイガーの35度に比べるとずっと劣るものであった。また行動半径についても、1080ℓの携行燃料で150kmの行動しかできず、ヤクトタイガーの864ℓで170kmのデータに劣った。ただ主砲だけは、キング・タイガーの後期、最強といわれたものと同じ43L/71型を搭載しているの、ソ連軍を恐慌に落とし入れることはできた。クルスクの戦車戦で30両ちかくは、戦場に放置する結果になったが、その形は、異様な迫力が感じられ、敵を威嚇するには十分であった。クルスクの後、少々改良が加えられ、イタリア戦線や、ポーランドの守備戦線に投入されている。カムフラージュした戦場のエレファントは、巨象のごとく迫力をかもしだしている。

BAN
DAI

△ 注 意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。（組立上15才未満には適しません）
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息するおそれがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところに保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 接着剤は締め切った室内では使用しないでください。中毒の危険があります。

＜組み立てる時の注意＞

- 組み立てる前に、説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取ってください。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがったところがあるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※このキットには接着剤は入っておりません。お手数ですがプラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求め下さい。

(お買い上げのお客様へ) 商品についてお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでお問い合わせください。また、部品をこわしたり、なくした人には実費にてお分けします。「部品注文カード」に必要な部品の番号・数量をはっきり書いて切り取り、郵便為替または定額小為替で下記までお申し込みください。代金は部品代(1個40円×個数)+郵送料(130円)+為替手数料(金額によって異なります)です。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に130円を超える時は不足分を請求、130円以下の時は残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 新バンダイ静岡工場 お客様相談センター・部品係

〒424 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315

部品注文カード

55596-1000

1/48 エレファント

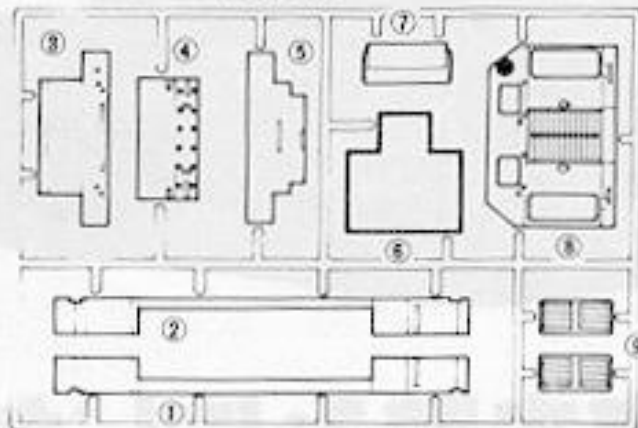
必要な部品の番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

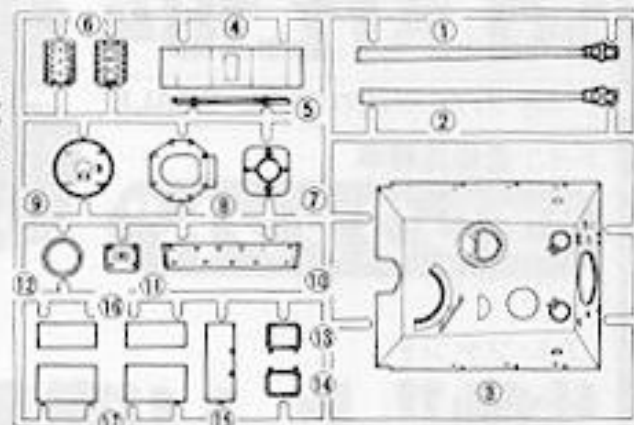
部品の注文は「普通為替」が「定額小為替」でお送りいただけます。 81.1

【部品図】

A 部品



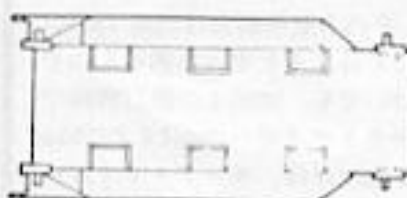
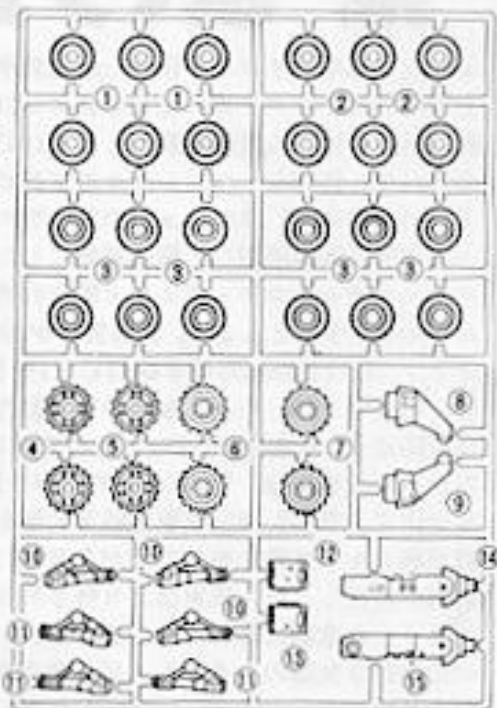
B 部品



C 部品



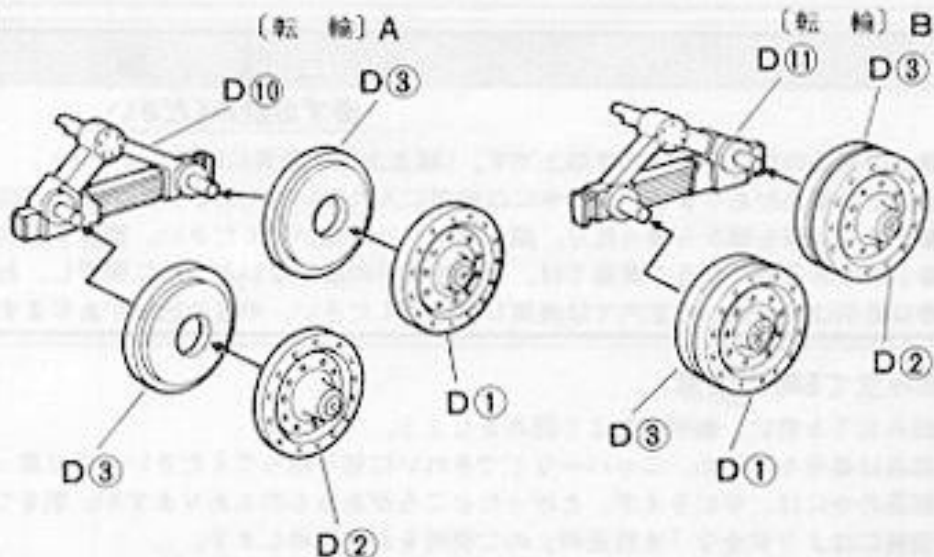
D 部品



- 88%砲弾部品
- 戦車兵部品…1
- キャクピラ…1組
- 転写マーク…1組
- アンテナ部品…1

1 図 (転輪の組み立て)

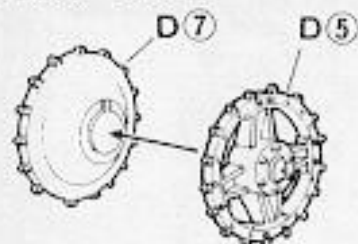
■ 転輪(A), (B)を3組ずつ組み立ててください。



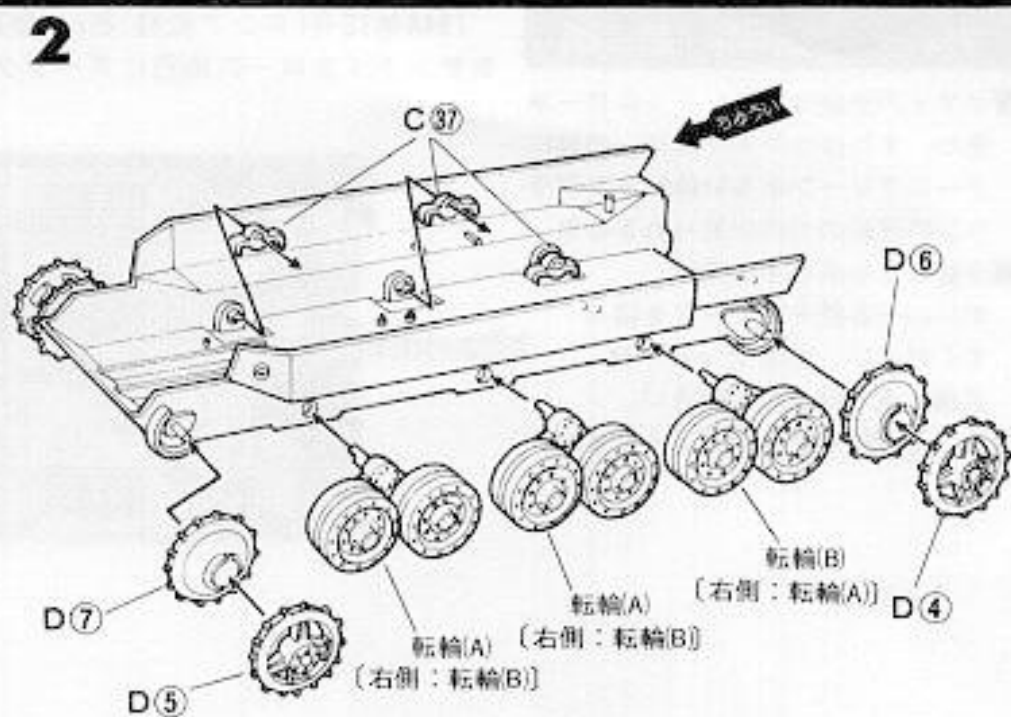
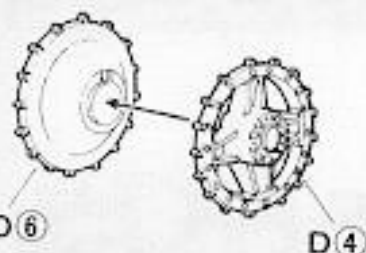
2 図〈車輪の取り付け〉

■ 転輪および各車輪をシャーシーに取り付けます。

■ C37は転輪の軸に接着します。
 (起動輪) 2組作る



〈誘動輪〉 2組作る



3 図〈操縦席の組み立て〉

■ 各部品をそれぞれシャーシーに接着します。

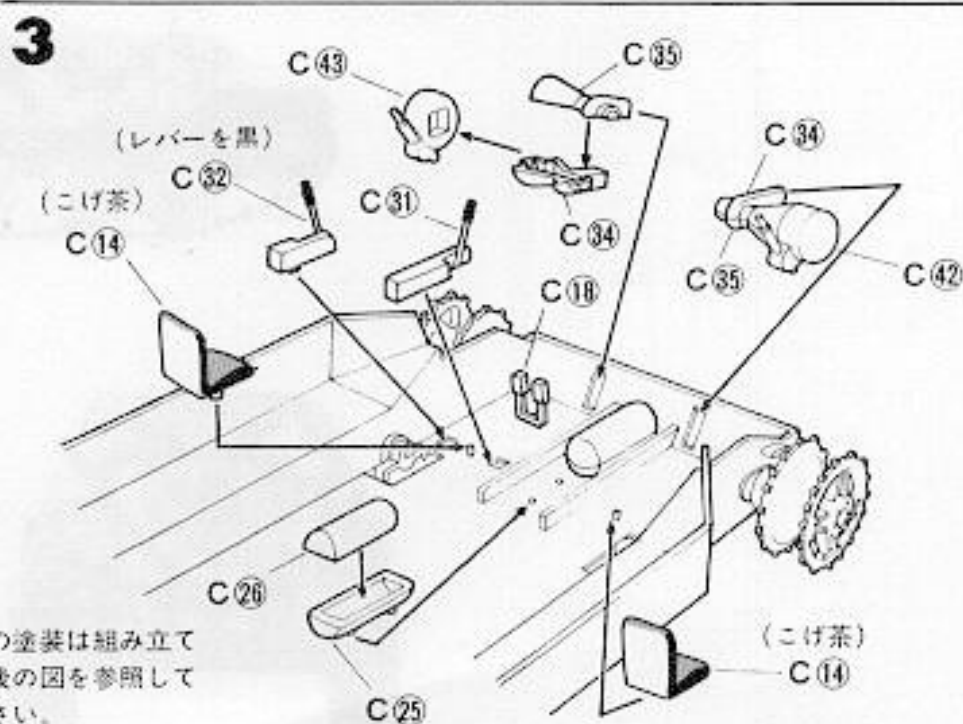
塗装

■ シャーシー内部は、座席以外すべてツヤ消し白に塗装します。

〈ドライバー〉



※ 人形の塗装は組み立ての最後の図を参照してください。

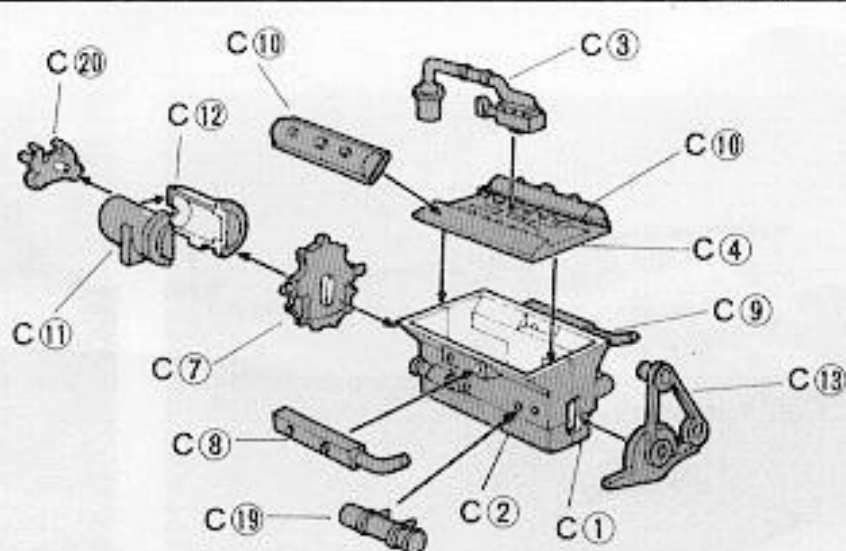


4 図〈エンジンの組立て〉

■ エンジンを図のように組み立てます。
 2組作ります。

塗装

■ 黒鉄色で塗装します。

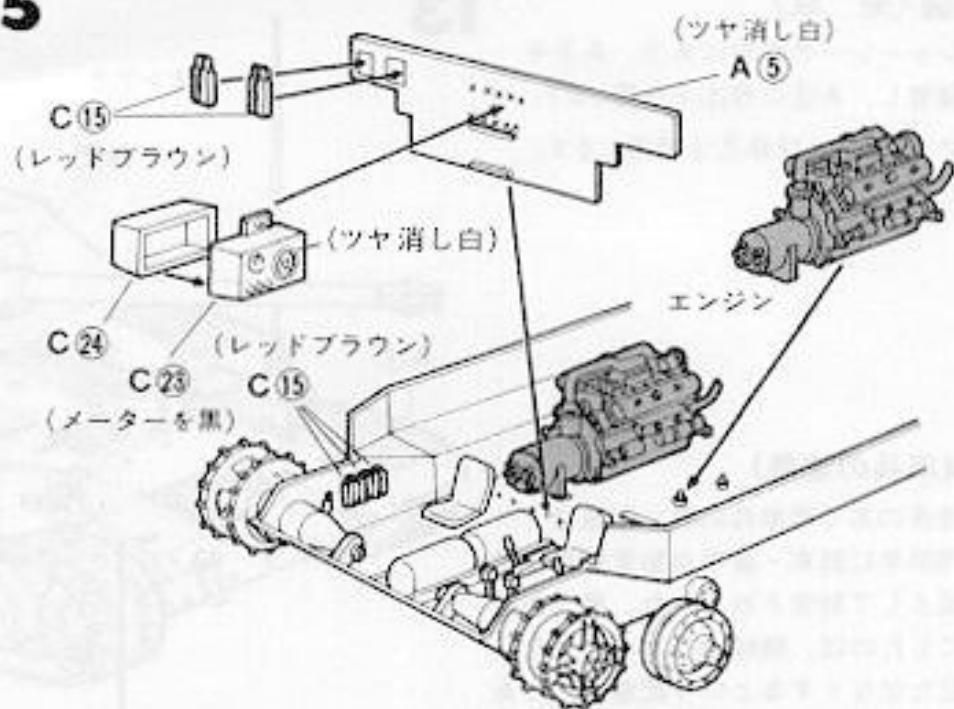


5 図 〈エンジンの取り付け〉

5

■エンジンをシャーシーに接着します。

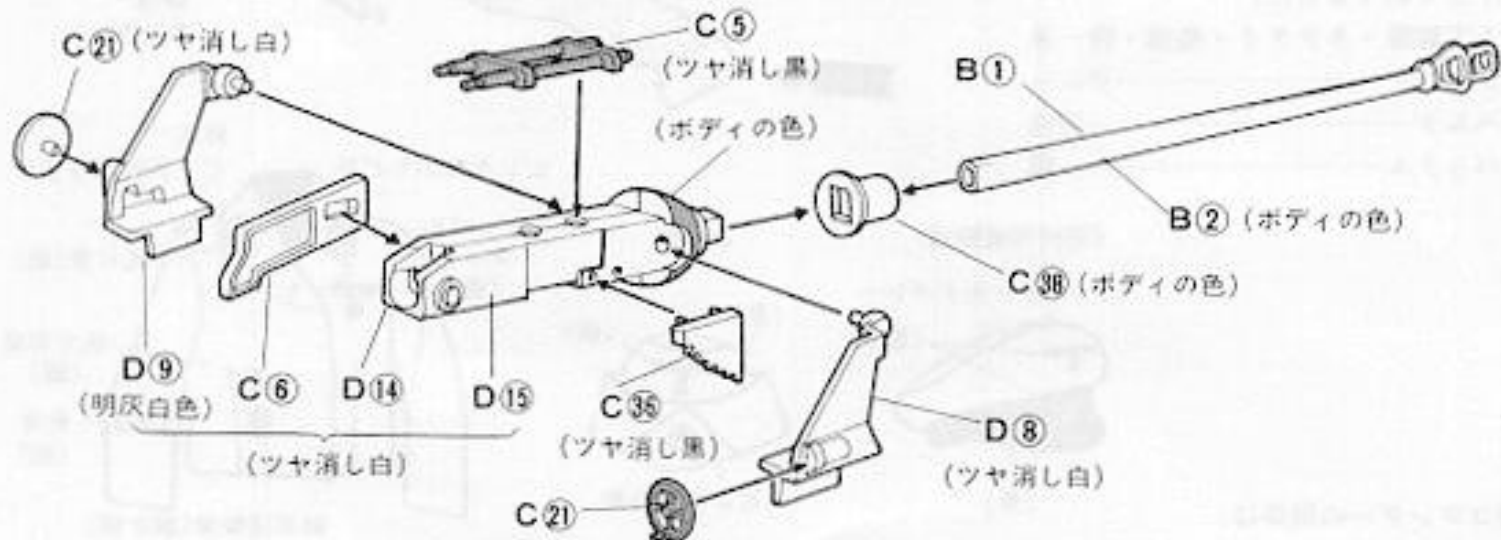
■A⑤に各部品を接着します。



6 図 〈砲身の組み立て〉

6

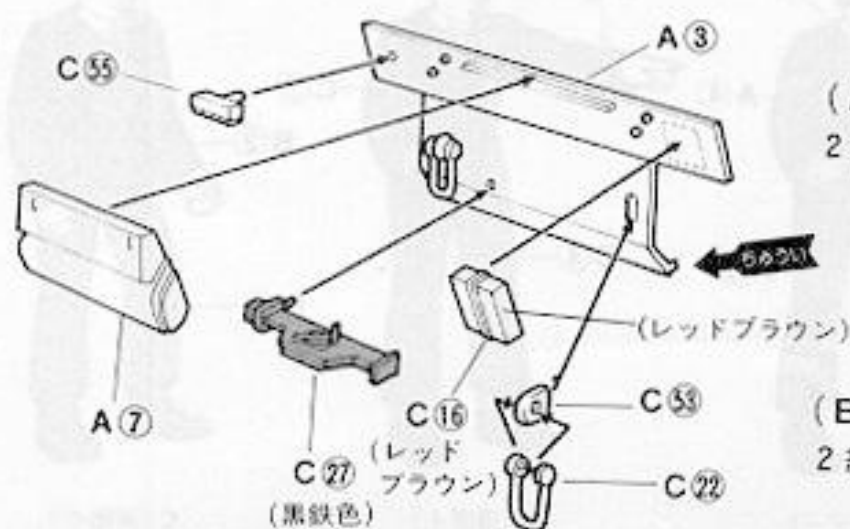
■各部品を図のように接着していきます。



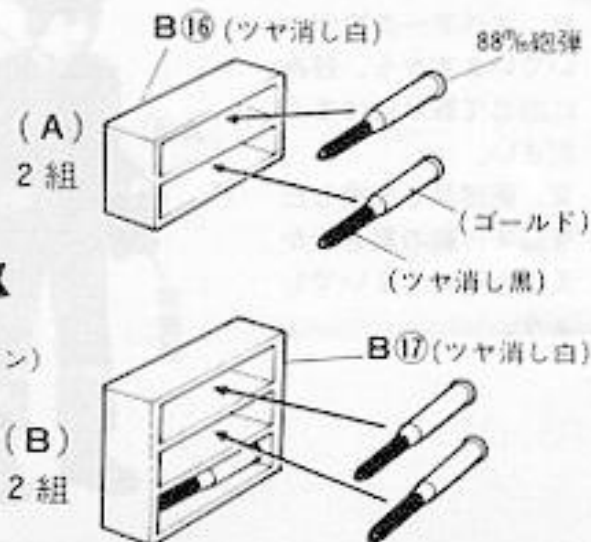
7 図 〈後部装甲板の組み立て〉

7

■A③に各部品を接着してください。



〈砲弾ケースの組み立て〉

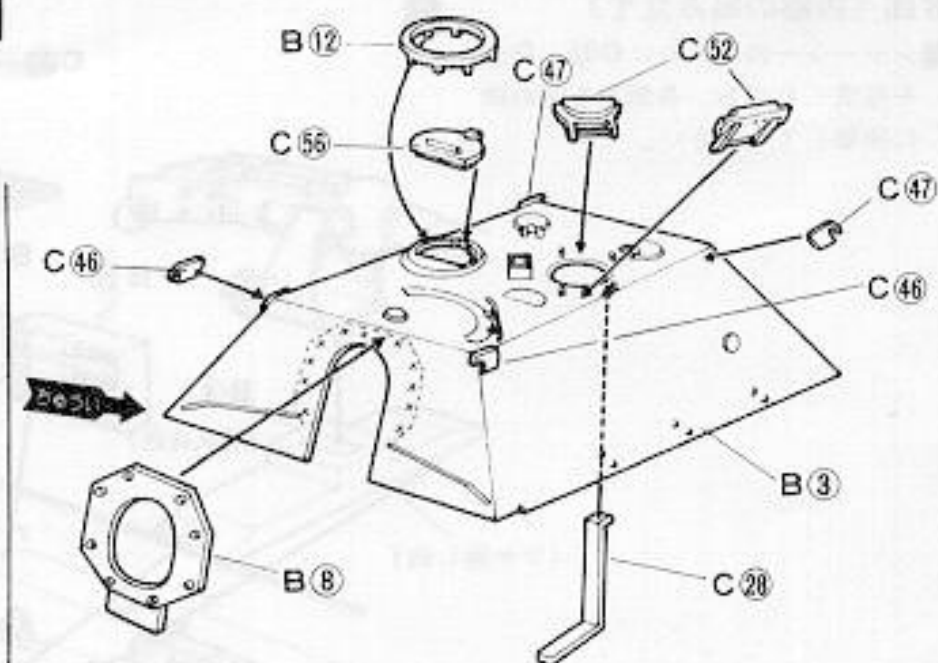
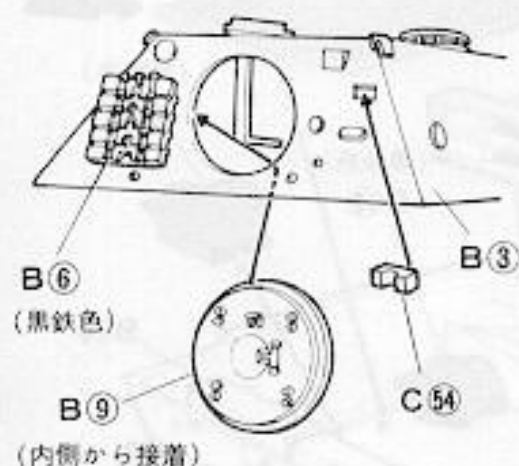


11図 〈ボディの組み立て〉

11

■ B③に各部品を接着します。

■ C⑤②は開いた状態にしてください。

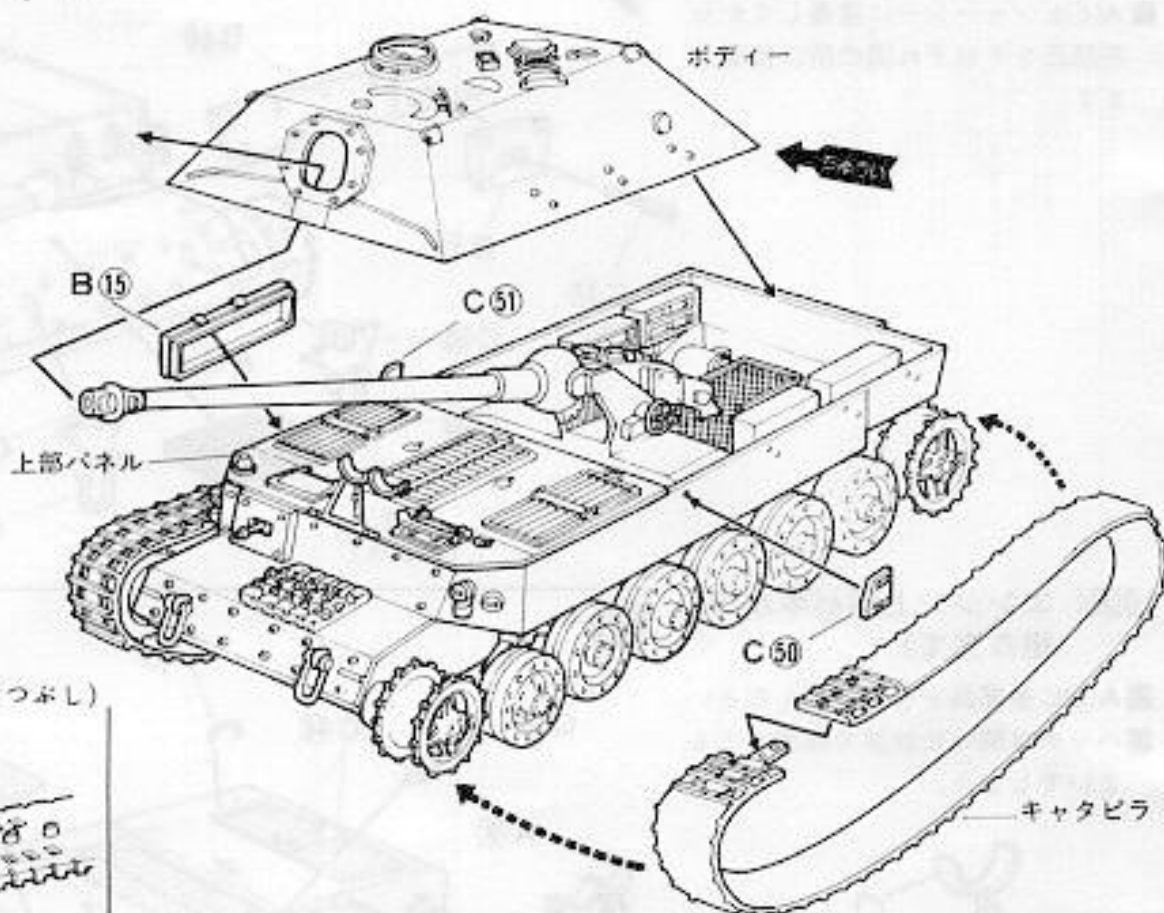


12図 〈ボディの取り付け〉

12

■ シャーシーに B⑮、C⑤①、C⑤②を接着します。

■ 上部パネルをシャーシーにはめてからボディを砲身に通し、シャーシーにとりつけます。



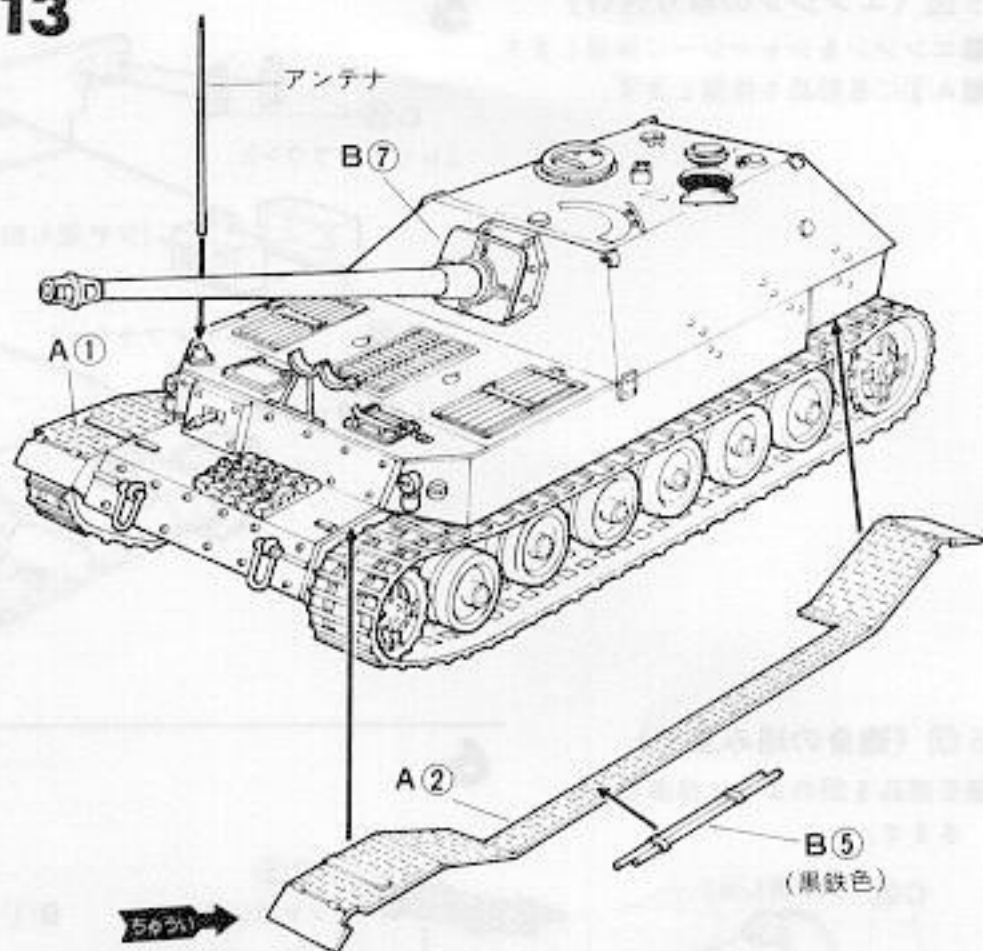
13図〈完成〉

13

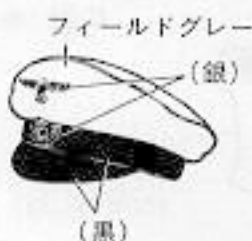
- シャーシーの左右にA①、A②を接着し、A②にB⑤を接着します。
- アンテナおよびB⑦を接着します。

〈戦車兵の塗装〉

- 特長のある戦車兵の黒い制服は、1935年に戦車・装甲自動車隊用作業服として制定されました。黒の制服にしたのは、機械油などの汚れを目立たせなくするという配慮からでありました。
 - 戦車兵の兵科色はすべてピンクで肩章、えりの部分にピンクのふちどりがしてありました。
- 上下制服・ネクタイ・略帽・靴…黒
 シャツ……………グレー
 ベルト……………茶色
 バックル……………銀



〈将校用戦闘帽〉



〈略帽〉



- コマンドーの胴体は、A⑥、A③のどちらかを選び接着してください。
 - A・B・Cには、それぞれ、スペアの腕がついていますから、好みに応じて取り付けてください。
- 又、腕部品を交換したりして、腕の動きをかえてみるのもよいでしょう。



A〈コマンドー〉



B〈通信士〉

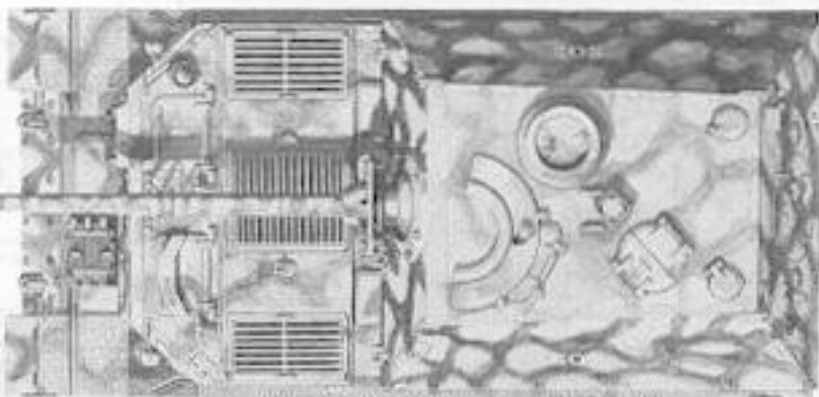


C〈装填手〉

マークの説明

1944年12月(ロシア戦線)第614重駆逐戦車大隊所属
※サンドイエローの地色にダークグリーンの迷彩

- ボディの塗装は、サンドイエロー単色か、またはサンドイエローの地にダークグリーンあるいはレッドブラウンの迷彩のものが見られました。
- 塗装したらボディに車体ナンバーと鉄十字マークをはってください。車体ナンバーは、自由に選びはってください。
- 又、箱の絵も参考にしてください。



車体ナンバー



⚠ 注意

必ずお読みください

- 部品は、気をつけて組み立ててください。
- 火を取り扱う場合は、火災や、やけどに充分注意してください。

■ キャタピラは、ピンを焼きつぶして取り付けます。

- ピンを焼きつぶす。

